

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2013-128813(P2013-128813A)
【公開日】平成25年7月4日(2013.7.4)
【年通号数】公開・登録公報2013-035
【出願番号】特願2013-75852(P2013-75852)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演出画像の表示が可能な演出表示手段と、
前記演出表示手段と対向する位置に設けられ、遊技者による接触を検出可能であり、当該接触を検出した際に接触位置を特定するタッチパネルと、
前記演出表示手段に演出画像を表示させる制御を行う演出表示制御手段と、
所定条件が成立したことに基づいて、遊技者に利益を与える当たり抽選を行う当たり抽選手段とを備え、
前記演出表示制御手段は、
前記タッチパネルへの遊技者の接触且つ所定位置への移動である接触移動が行われたときに表示内容へ変化させ、表示内容の変化後である表示結果態様により前記当たり抽選手段の抽選結果を示唆し、
前記表示結果態様は、前記当たり抽選に当選したときに実行される可能性が高い第1結果と前記当たり抽選に当選しなかったときに実行される可能性が低い第2結果とを含み、
前記表示結果態様を決定する表示結果態様決定手段は、前記当たり抽選に当選したときであっても前記第2結果を決定可能である、
ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記接触移動により表示内容を変化させる方向を複数方向備え、
前記演出表示制御手段は、前記当たり抽選手段の抽選結果の示唆を、前記接触移動の方向に応じてそれぞれ異なる表示結果態様により行う、
ことを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、請求項1に記載の本発明の遊技機は、演出画像の表示が可能な演出表示手段(液晶表示装置21)と、前記演出表示手段と対向する位置に設けられ、

遊技者による接触を検出可能であり、当該接触を検出した際に接触位置を特定するタッチパネル（タッチパネル100）と、前記演出表示手段に演出画像を表示させる制御を行う演出表示制御手段（サブCPU301）と、所定条件が成立したことに基づいて、遊技者に利益を与える当たり抽選を行う当たり抽選手段（メインCPU201）とを備え、前記演出表示制御手段は、前記タッチパネルへの遊技者の接触且つ所定位置への移動である接触移動が行われたときに表示内容へ変化させ、表示内容の変化後である表示結果態様により前記当たり抽選手段の抽選結果を示唆し、前記表示結果態様は、前記当たり抽選に当選したときに実行される可能性が高い第1結果と前記当たり抽選に当選しなかったときに実行される可能性が低い第2結果とを含み、前記表示結果態様を決定する表示結果態様決定手段（サブCPU301）は、前記当たり抽選に当選したときであっても前記第2結果を決定可能である、ことを特徴とする。